

東香会 H24年度 事業報告

平成25年5月
 社会福祉法人 東香会
 しぜんの国保育園
 成瀬くりの家保育園
 ののはな文京保育園

<p>H24年度の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長・発達に寄与する人はすべて保育者 ・私たちは、今ここで、「こどもたちのたからもの」を大切にします ・地域で安心して子育てができるように 	<p>理事長の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育にあたって、子どもを取り巻く全ての人々に協力を得たいと考えてのことであるが、今後とも意識の改革に努める必要がある。 ・子どもたちの宝物を増やすよう、各園ともに努めたと思われる。 ・地域で信頼される保育園となるよう努めていることは、各園の待機児童数にも表れている。
<p>H24年度の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園を取りまく社会環境の変化に対応するよう努める。 ・園内研修をより一層進め保育者資質向上に努める。 ・地域環境を生かし「こども中心」の視点に立ってバランスの取れた保育を進める。 ・運営体制が信頼に足るものとなるよう、法人本部をもとに調整し、事業が円滑にすすめるよう努める。特に給食関係者の異動を図る。 ・子どもの生活や発達の連続性を踏まえた保育の内容の工夫をするほか、小学校や地域とも積極的な連携に取り組む。 	<p>重点目標達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各重点目標に添って各園ともに努力している。 ・今後、運営管理側の意欲と一般職員の間には齟齬のないよう努めることが一層必要と思われる部分があった。 ・連携への努力は認められる。 ・地域へのアプローチはもう一工夫欲しい。
<p>H24年度事業計画(計画した事業とその手順)</p>	<p>事業実施状況</p>
<p>東香会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 ホームページ等での適切な情報公開及び各種おたよりを通して、園児・保護者、地域との触れ合いを深め、開かれた保育園運営のアピールを行うほか、子育て家庭交流の拠点施設としての社会啓発を行います。 <p>本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人本部の人的配置と充実を図ります。 ・職員の人事考課の採用、導入に向け、調査検討を行うよう努めます。また、全職員のスキルアップのための体制を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを見て見学来訪者が増えた。 ・各園ともにアピールの仕方に工夫が見られた。特に、3園ともに玄関先での やかな配慮が見られた。 ・人的配置については、退職者等もあり、充実までにはいたらなかった。 ・人事考課の検討を引き続き継続していきたい。
<p>しぜんの国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しぜんの国保育園は、一昨年度より、子どもたちの学びの自発性・発想力をより豊かにするため、「しぜん谷保育(オープン保育)」を展開させました。今年度は職員体制を整え、さらに回数を増やし、内容を深めます。 ・周辺環境を活かすため、里山文化を子どもたちと共に学び、継承していきます。 ・柔軟な保育の発想力を増やすため、子どもに関わる大人が誰でも保育活動のプロジェクトを考えられるシステムを作ります。 ・子どもの情操を育てる“芸術”に特化した保育を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しぜん谷保育(異年齢保育)を深め、幼児グループ(3、4、5歳児)の交流が盛んになりました。特に5歳児は、2歳児への午睡準備の手伝いなどで、最年長児としての自覚が強まりました。 ・隣接する山を使って自然体験や里山文化を学びました。 ・保育者がいつでも思いついたプロジェクトを行える「おもいつきプロジェクトシート」を作成し、今までにない様々な保育を行うことで、子ども達の驚きや学びを引き出しました。 ・芸術系大学出身の職員を中心に、様々な芸術活動を行い、また、芸術家講師に、職員への研修を行っていただきました。

東香会 H24年度 事業報告

H25年5月
 社会福祉法人 東香会
 しぜんの国保育園
 成瀬くりの家保育園
 ののはな文京保育園

H24年度事業計画(行う事業とその手順)	事業実施状況
<p>● 成瀬くりの家保育園は</p> <p>本年12年目を迎え、保育内容を初心にかえて、一層の充実に努めます。「保育」「環境」「人材育成」が理念「いきいき」に基づいてさまざまな分野の「質の向上」に向けて努力します。</p> <p>成瀬くりの家</p> <p>① あとりえりーずを子どもたちの「自発性」「主体性」を育む環境となるよう整えます。</p> <p>② キッチンガーデン及び園庭の収穫物を保育・食育につなげ、豊かな食育計画をさらに見直していきます。</p> <p>③ 園内環境を見直し、収納・整理・整頓に力を入れ、園児とともに、職員も生活しやすい場として整えます。</p> <p>④ 昭和薬科大学、成瀬中央小学校、成瀬山等、近隣地域との関係をより密に行い、子どもたちの活動の場が広がるように努力します。</p> <p>⑤ まろんちゃんのおうちでは、地域ニーズをキャッチして、より一層地域子育て支援の充実を目標とします。行政と話し合い、今後の方向について定めていきます。</p>	<p>・今年度、職員の質の向上の一つとして、特に非常勤の職員の研修を充実させ、意識の向上となる</p> <p>・日本の伝統行事を一つひとつ丁寧にしない、そこから食育につながりを持たせ展開させることができた。収穫物にも恵まれ、親子での収穫や地域活動を通して地域の方にも開放する事が出来たので今後も行なっていきたい。また 保護者への試食提供も好評で園内活動の公表にもつながる。</p> <p>・行政からの要請にこたえる形での一時保育も増え、柔軟に対応すると共に、利用者の数も増え、かなりの成果が得られた。</p> <p>・近隣の小中高 大学との連携も深めることができ、人材派遣も含めて今後も引き続き良い関係を保っていきたい。</p>
<p>ののはな文京保育園は、</p> <p>・地区の抱えている保育ニーズ(待機児)に応えるため、市と連携した保育活動をより一層進めていきます。</p> <p>・今年度は市の要請による、障がい児に対する健常児の正しい理解を得られる、統合保育を先駆的に実践し、合わせて統合保育技術の研究を推進し、地区の保育園からの要請に応じ、助言・指導を行う「障がい児保育研究保育所」の認定を受けます。</p> <p>・季節感のある食育を進めるため、食農活動として年間を通した食材を園児とともに育成していきます。</p> <p>・子ども達の表現活動を一層努めて楽しく登園できる保育内容の充実に努めます。</p> <p>・待機児解消とともに、保育室面積の基準変更に伴う課題解消に努めます。</p> <p>ののはな文京</p>	<p>・平成25年度から相模原市は、保育所の面積基準を国基準(乳児一人当たり3.3㎡)に拡大することになり、園の現状の乳児受け入れ可能人数が55名から41名に減少する。園は地域の保育ニーズに応え、出来る限り待機児を受け入れていることから、2F展示コーナーを改修し「ほふく室」(乳児室)に転用し、受入れ可能数の55名分の部屋を確保した。</p> <p>・施設開設5年目を迎えるにあたり、室内の床、壁等の補修が必要となったため整備を行いより充実した施設とした。</p> <p>・園庭から見える緑が少ないことから、予ねてから懸案であった屋上緑化を行い保育環境を向上させた。</p> <p>・障害児の保育ニーズの取り組みとして、1歳児の障害児(ダウン児)2名を受入れた。併せて「障害児保育研究所」として支援給食を先駆的に開始した。</p>

平成24年度事業報告 (平成25年4月1日現在)

1 特別保育等

零歳児保育特別対策事業実施 178名

延長保育事業

延長保育事業(零歳児の受け入れ)

* 18:30を超える延べ利用零歳児数 212名

延長保育 利用総人数 4,467名

一時保育事業 利用総人数 3,693名

	一時保育	本園	分園	計
一時保育事業(4時間以内)	半日	50	416	466
一時保育事業(4時間を越える)	全日	2071	1156	3,227
	計	2,121	1,572	3,693

障がい児保育 6名×1か月=6名 7名×11ヶ月=77名
 外国人児童の受け入れ 1名×2か月=2名 2名×3か月=6名 3名×7ヶ月=21名 計 29名

アレルギー児に対する除去食実施 5名×9ヶ月=45名 6名×3=18名

2 地域子育て推進

育児講座 年 10回 91名参加
 育児相談 28件
 保育所体験 年 4回実施 延べ 38組 76名参加
 出産を迎える親の体験学習 年 1回実施 延べ 14名参加
 子育てサークル支援 年 7回実施 延べ 55名参加
 子育て情報誌の発行 年 12回実施
 出前保育 年 11回実施 延べ 134組 242名参加
 世代間交流・お年寄りとの交流 年 14回実施
 小中高生の育児体験受入 延べ 16日 31名受入
 保育拠点活動支援 年 10名

3 その他

平成24年度事業報告 (平成25年4月1日現在)

1 特別保育等

零歳児保育特別対策事業実施 119名

延長保育事業

延長保育事業(零歳児の受け入れ)

* 18:30を超える延べ利用零歳児数 3×12ヶ月=36名

延長保育 利用総人数 2881名

一時保育事業 利用総人数 4030名

	一時保育	くりの家	駅前	計
一時保育事業(4時間以内)	半日	558	911	1469
一時保育事業(4時間を越える)	全日	1243	1318	2561
	計	1801	2229	4030

障がい児保育 1名×12ヶ月=24名

外国人児童の受け入れ 2名×12ヶ月=24名

アレルギー児に対する除去食実施 6名×9ヶ月=54名 7名×3カ月=21名

2 地域子育て推進

育児講座 年9回41名参加
 育児相談 166件
 保育所体験 年11回実施 延べ187名参加
 出産を迎える親の体験学習 年7回実施 延べ33名参加
 子育てサークル支援 年6回実施 延べ107名参加
 子育て情報誌の発行 年12回実施
 出前保育 年11回実施 延べ94組296名参加
 世代間交流・お年寄りとの交流 年13回実施
 小中高生の育児体験受入 延べ18日38名受入
 保育拠点活動支援 年15名

3 その他

なし

平成24年度事業報告 (平成25年4月1日現在)

ののほな文京保育園

1 特別保育等

零歳児保育特別対策事業実施 名

延長保育事業

延長保育事業(零歳児の受け入れ)

*18:30を超える延べ利用零歳児数 329名

延長保育 利用総人数 6,495名

一時保育事業 利用総人数 1,825名

	一時保育	本園	分園	計
一時保育事業(4時間以内)	半日			417
一時保育事業(4時間を越える)	全日			1,408
	計			1,825

障がい児保育 名× か月= 名 名× ヶ月= 名

外国人児童の受け入れ 名× ヶ月= 名

アレルギー児に対する除去食実施 5名× 12ヶ月= 60名 名× ヶ月= 名

2 地域子育て推進

育児講座 年 12回 23名参加

育児相談 70件

保育所体験 年 15回実施 延べ 70組 150名参加

出産を迎える親の体験学習 年 回実施 延べ 名参加

子育てサークル支援 年 1回実施 延べ 60名参加 (地区公民館事業)

子育て情報誌の発行 年 12回実施

出前保育 年 回実施 延べ 組 名参加

世代間交流・お年寄りとの交流 年 1回実施

小中高生の育児体験受入 延べ 21日 176名受入

保育拠点活動支援 年 40名

3 その他